

小諸市立保育園 職員配置数 (職員数)

令和3年4月1日現在 市子ども育成課資料より早川作成

園名 (定員)		Free	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	備考
中央 (80)	正規職員保育士	1	1				1		3	14+時短2=16
	会計年度保育士	時短	1	2	2	2	1	1	9	
	補助保育士	2					1	1	2	
芦原 (60)	正規職員保育士	1					1	1	3	8+時短1=9
	会計年度保育士	時短		2	2				4	
	補助保育士	1					1		1	
西 (45)	正規職員保育士	1			1	1			3	8+時短2=10
	会計年度保育士	時短	2	1	1				4	
	補助保育士	2			1				1	
千曲 (60)	正規職員保育士	1					1	1	3	7+時短2=9
	会計年度保育士	時短			2		1	1	4	
	補助保育士	2							0	
東 (100)	正規職員保育士	2			1		1	1	5	18+時短4=22
	会計年度保育士	時短	2	2	2	3	1	1	11	
	補助保育士	4		1			1		2	
美里 (90)	正規職員保育士	2	1		1			1	5	16+時短6=22
	会計年度保育士	時短		3	1	2	1		7	
	補助保育士	6		1	1		1	1	4	
南 (150)	正規職員保育士	3				1	1	1	6	22+時短6=28
	会計年度保育士	時短	1	4	4	3	2	1	15	
	補助保育士	6		1					1	
合計 (585)	正規職員保育士	11	2	0	3	4	3	5	28	93+時短23=116
	会計年度保育士	時短	8	13	12	11	6	4	54	
	補助保育士	23	0	3	2	1	3	2	11	
	計	34	10	16	17	16	12	11	93	

公立保育所の職員数（保育） 県下19市の比較 R3. 4. 1現在 市子ども育成課資料と各自治体のホームページより早川作成

	職員数			入所可能 定員数 D	職員一人当 児童受持数 D÷C	職員数に占める割合	
	正規 A	正規外 B	合計 C			正規率 A÷C	非正規率 B÷C
長野市	193	316	509	5,816	11.4	37.9	62.1
松本市	279	936	1,215	5,776	4.8	23.0	77.0
上田市	177	299	476	2,835	6.0	37.2	62.8
岡谷市	83	146	229	1,140	5.0	36.2	63.8
飯田市	77	126	203	1,345	6.6	37.9	62.1
諏訪市	111	180	291	1,605	5.5	38.1	61.9
須坂市	51	174	225	830	3.7	22.7	77.3
小諸市	28	88	116	585	5.1	24.0	76.0
伊那市	109	253	362	2,155	6.0	30.1	69.9
駒ヶ根市	30	95	125	765	6.1	24.0	76.0
中野市	84	127	211	1,410	6.7	39.9	60.1
大町市	34	75	109	650	6.0	31.2	68.8
飯山市	34	61	95	570	6.0	35.8	64.2
茅野市	113	218	331	1,670	5.0	34.1	65.9
塩尻市	115	383	498	1,800	3.6	23.1	76.9
佐久市	98	194	292	1,665	5.7	33.6	66.4
千曲市	70	239	309	1,340	4.3	22.7	77.3
東御市	45	104	149	720	4.8	30.2	69.8
安曇野市	99	296	395	2,585	6.5	25.0	75.0

保育士の平均賃金等について

【年収換算・月収換算した賃金】

	男女計		男		女	
	年収換算	月収換算	年収換算	月収換算	年収換算	月収換算
全職種	500.7万円	41.7万円	561万円	46.8万円	388万円	32.3万円
保育士	363.5万円	30.3万円	389.2万円	32.4万円	362.1万円	30.2万円

【平均年齢、勤続年数、決まって支給する現金給与額】

	男女計				男				女			
	構成比	平均年齢	勤続年数	きまって支給する現金給与額	構成比	平均年齢	勤続年数	きまって支給する現金給与額	構成比	平均年齢	勤続年数	きまって支給する現金給与額
全職種	100.0%	43.1年	12.4年	338.9千円	65.1%	43.8年	13.8年	374.9千円	34.9%	41.8年	9.8年	269.0千円
保育士	100.0%	36.7年	7.9年	244.8千円	6.1%	31.9年	6.2年	263.9千円	94.9%	37.0年	7.9年	243.6千円
幼稚園教諭	100.0%	34.3年	8.2年	268.1千円	4.4%	39.2年	11.5年	324.4千円	95.6%	34.1年	8.0年	240.5千円
看護師	100.0%	39.5年	8.2年	334.4千円	10.8%	36.0年	7.2年	343.7千円	89.2%	39.9年	8.3年	333.3千円
福祉施設介護員	100.0%	42.0年	7.1年	244.5千円	36.7%	39.5年	6.8年	290.6千円	63.3%	44.4年	7.3年	235.1千円
ホームヘルパー	100.0%	48.9年	7.3年	240.9千円	21.0%	41.1年	6.2年	273.8千円	78.9%	51.0年	7.7年	231.7千円

（出典）令和元年賃金構造基本統計調査

（※）「年収換算」：令和元年賃金構造基本統計調査における「きまって支給する現金給与額」に12を乗じ、「年間賞与その他特別給与額」を足した額

（※）「月収換算」：「年収換算」を12で割った額

（※）「きまって支給する現金給与額」とは、労働協約又は就業規則などにあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって6月分として支給される現金給与額のこと。手取額でなく、税込み額である。

現金給与額には、基本給、職務手当、精進動手当、家族手当が含まれるほか、時間外勤務、休日出勤等超過労働給与も含まれる。

新子育て安心プランにおける支援のポイント

②魅力向上を通じた保育士の確保

保育士が生涯働ける魅力ある職場づくりを推進するとともに、職業の魅力を広く発信する。

<施策例>

- ・情報発信のプラットフォーム構築

- ・保育補助者の活躍促進

- 「勤務時間30時間以下」との補助要件を撤廃

- ・短時間勤務の保育士の活躍促進

- 待機児童が存在する市町村において各クラスで常勤保育士1名必須との規制をなくし、それに代えて2名の短時間保育士で可とする

- ・保育士・保育所支援センターの機能強化

- 現職保育士の就業継続に向けた相談を補助対象に追加

- ・若手保育士や保育事業者等への巡回支援の拡充

- 働き方改革支援コンサルタントの巡回や魅力ある職場づくりに向けた

- ・啓発セミナーの実施を補助対象に追加

正規雇用保育士
の負担大

会計年度任用職員
の保育士の増加

正規雇用では家庭
との両立が困難に

「会計年度保育士」増加が
保育の質を低下させる
負のスパイラル

全員パート化の容認
(配置基準の緩和)

正規雇用保育士
の離職が増える

待機児童が
増える